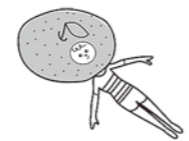


八峰白神ジオパーク

連載 118回



Happo-Shirakami Geopark



果じゅ実

事務局

八峰町産業振興課 ジオパーク推進係
☎ 0185 (76) 4605 FAX 0185 (76) 2203
HP <http://www.shirakami.or.jp/~happo-sh-geo/>



白神山地の恵みに生きる

ジオパークには欠かせない大地で暮らす人々
地域の人話を聞いて、大地と人のつながりを考えます

みんなで何かやるって楽しいですよ



ひより会のみなさん 中央が藤田はるみさん

話をしてくれた人

藤田 はるみ ふじた はるみ さん
旧二ツ井町生まれ。2019年からひより会の会長を務める。しよつづの他にも、海産物を加工して産直ぶりこ等で販売をしている。

〇ひより会の活動

ひより会の活動は平成14年からです。活動して17年になります。今のメンバーは5人。漁協の女性部の有志が集まってやってきました。年もいってきただけ、なんとかかんとかやっています。

今年に入ってからコロナが流行して、注文が来なくなってどうすんだろうってなりました。5月ころがひどくて、注文が全然来なくなって。今はだいふ復活してきたんですけど。

みんなで何かやるって楽しいですよ。黙って家に一人にいるよりも、少しでもお金も稼いで。ほんとにいくらかなんですけど、自分で自由になるお金があって、楽しいです。メンバーでたまにご飯を食べに行ったりもして、活力になります。ちょっとでも仕事があるというのは幸せですね。

〇しよつづの今昔

おらがたが小さいときは、漁師の家ではしよつづを醤油がわりに使っていたと聞いています。今であれば捨ててしまうような、魚の身を食べた後のカシラと内臓で作ったので、生臭かったそうです。昔はハタハタがたくさん獲れたから、トラックで木箱に入れて運んで来て、1箱50円とか100円で売っていました。箱代だけだったな。

今は、ひより会のしよつづにはハタハタしか使っていません。ハタハタを一匹まるごと使ったしよつづと、カシラと内臓をとった吟醸しよつづの2種類を作っています。それぞれ特長が違って、鍋にするってば一匹まるごとの方が、コクがあって美味しいですよ。

〇しよつづの作り方と美味しい食べ方

12月になって季節ハタハタが獲れば、月に一回かましながら大体2年間漬け込みます。放っておけば塩がだんだん下に沈殿して行って、上の方の塩分が薄くなってカビが生えてしまいます。だから特に暑いときは攪拌が大事です。すべて手づくりだから手間がかかります。

食べ方は、以前にしよつづのだれを使った魚のから揚げを作ったらすごく美味しかったのでおすすめです。焼きおにぎりやしよつづの焼きそばも美味しい。私は、きりたんぼ鍋に必ず入れます。やっぱりコクが出るような感じがしますね。



漬け込んだしよつづを攪拌させる様子



左：吟醸しよつづ
右：一匹まるごと



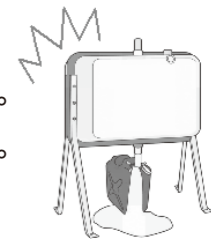
八峰消防署からのお知らせ

落雪によるガス漏れ・油漏れを防ぎましょう

屋根からの落雪によるプロパンガスボンベや灯油のホームタンクの転倒、配管の損傷が懸念されます。降雪期には、雪害対策を講じるようお願いします。

〈降雪期に注意すること〉

- ・配管の損傷防止やホームタンク、ガスボンベの転倒防止を図りましょう。
- ・雪下ろしの際は、隣の家のホームタンクやガス設備にも注意しましょう。
- ・屋根からの落雪があった時は、一度確認しましょう。



〈ホームタンクで注意すること〉

- ・灯油の移し替えなどの際は、その場を離れないようにしましょう。
- ・残油量は常に確認しましょう。
- ・万が一流出したときは、速やかに消防署などに連絡しましょう。

〈ガスボンベで注意すること〉

- ・緊急時に容器バルブを閉じられるよう、ガス設備の周りを除雪しましょう。



注意！冬のお風呂の死亡事故

入浴中の事故は、持病がない場合、前兆がない場合でも発生する恐れがあります。特に高齢者の入浴中の事故は、発生すると入院が必要な中等症以上になる割合が高く、事故の予防が重要です。そのためには、高齢者の方本人が注意するとともに家族の方など周りの方も一緒になって事故を防止することが大切です。

入浴中の事故を未然に防ぐため次の点に注意しましょう。

入浴中の事故防止 注意点

- ・入浴前に脱衣所や浴室を暖めましょう。
- ・湯温は41℃以下、湯につかる時間は10分までを目安にしましょう。
- ・浴槽から急に立ち上がらないようにしましょう。
- ・食後すぐの入浴、またアルコールが抜けていない状態での入浴は控えましょう。
- ・精神安定剤、睡眠薬などの服用後の入浴は危険ですので注意しましょう。
- ・入浴する前に同居者に一声かけて、見回ってもらいましょう。



お風呂場でぐったりしている人・溺れている人を発見したら、救急車を！

■問合せ先 八峰消防署 ☎76-3119